

一般質問

松本議員

鳥獣害対策について

Q 質問 イノシシの行動を、暗視カメラなどを使って映像として記録し、捕獲や防御の作戦情報とするのはどうか。またこの分野に優れている警備会社の利用も考えてみてはどうか。

A 答弁 暗視カメラについては、勝山市鳥獣害対策協議会で2台保有しており、協議会の構成員でもある猟友会とも連携して暗視カメラを用いてネット柵の破損箇所やイノシシの出入り状況のチェック、イノシシが捕まらない檻の捕獲状況を撮影し対策を取っている。鳥獣害対策に取り組む警備会社の利活用については、すでに既存の取り組みを行っていることから、地元の猟友会の利活用を優先したいと考える。

鳥獣害対策の山際刈り払いについては、まずは雑木等の伐採を優先した上で、杉等の間伐枝打ちを実施しているところである。

その他の質問
・空き家の利用による市内の活性化について
・商業振興について

市民交流センター「健康の駅ゆったり勝山」の運営方針について

Q 質問 市民の憩いの場であった平泉寺荘に代わる施設として、来年1月オープン予定の「健康の駅ゆったり勝山」の運営計画は進んでいるのか。以前に平泉寺荘の湯に炭を浮かせて、水を活性化させるところ、湯質がガラリと変わり、大好評を博した。近年の研究で温泉に負けないくらいの健康増進機能を持つた水処理技術が開発されているが、導入予定はないのか。

A 答弁 営業時間、入館料など、市内の銭湯の料金や水芭蕉との整合性を勘案して設定するとともに、人員配置計画についても検討している。

「湯ったり勝山」の湯質をよくすることの工夫については、今後いろいろ調査・研究し、利用者に喜ばれる入浴施設となるよう創意工夫していく。



帰山議員

新体育館完成後の運営と活用について

Q 質問 新体育館についてオープンニングイベントの計画を問う。また防災備蓄の計画と現在の勝山市の状況を問う。

A 答弁 すでに平成28年7月の全日本実業団バドミントン選手権大会等、新体育館での開催についての要望を受けている。このような大会をオープンニングイベントと位置づけることも考えられるが、新体育館は多様な面で勝山市の活性化にも寄与していく施設としても位置づけていることから、多くの市民が参加して新体育館の竣工を祝うような催し等についても検討していく。

新体育館では備蓄物資を保管するため防災備品庫として33・83㎡のスペースを確保しており、毛布740枚のほか、おむつや衛生用品を各2,900枚、食糧としてアルファ米200食、味付きのアルファ米個別パック200食を備蓄する計画としている。現在は市内4箇所の備蓄物資の総数は、乾パン・ビスケット3,380食、かゆ1,214食、毛布1,060枚のほか、新体育館に備蓄予定のおむつや衛生用品はすでに保有しており、アレルギー対応食

その他の質問
・勝山市都市計画及び道路整備について

学校再編と施設整備について

Q 質問 学校再編指針が見直されるが再編検討時期を見直すべき。また、屋外施設の整備はどうするか問う。

A 答弁 政府は小中学校の再編による規模拡大を積極的の後押しする方針を表明し、年内にも新たな指針を示すとしている。勝山市としては、今後示される国の指針等の内容を十分吟味し、しっかり検証していきたい。

屋外施設の整備については、屋内体育施設のあり方の検討を進めていくうえで、市の財政見直しも見極めながら検討したい。それまでの間においては、それぞれ現施設の適切な維持管理に努めていきたい。



新体育館建設状況